

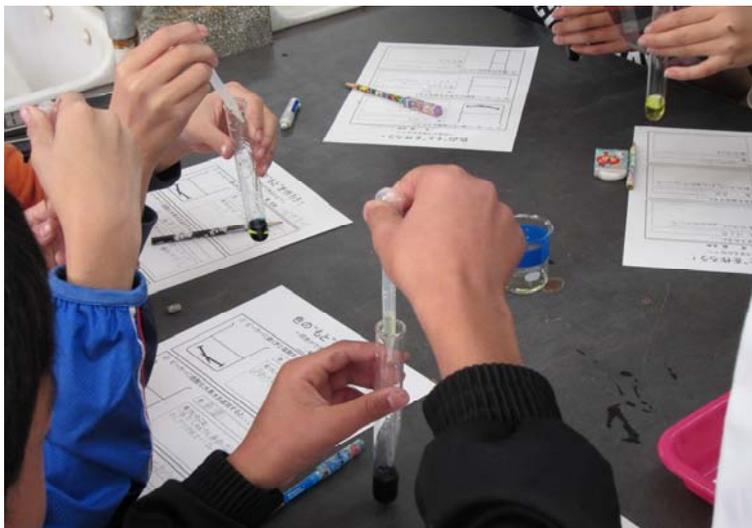
企業・団体名	D I C 株式会社		
プログラム名	くらしをカラフルにする化学の力 ～色のもとをつくり印刷してみよう～		
ジャンル (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 環境教育 (ESD を含む) <input checked="" type="checkbox"/> 理科教育 (理科実験・科学技術体験) <input type="checkbox"/> キャリア・職業教育 <input type="checkbox"/> 食育 <input type="checkbox"/> 消費者教育 <input type="checkbox"/> 金融・保険・経済教育 <input type="checkbox"/> 英語教育 <input type="checkbox"/> 運動・スポーツ <input type="checkbox"/> 地域理解 <input type="checkbox"/> 国際理解 <input type="checkbox"/> 礼儀・道徳 <input type="checkbox"/> 福祉・医療・介護 <input type="checkbox"/> 生活指導・家庭 <input type="checkbox"/> 交通安全 <input type="checkbox"/> その他 【 】		
対象学年 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 【小学校5】学年～【小学校6】学年 <input type="checkbox"/> 中学校 【中学校1】学年～【中学校3】学年 <input type="checkbox"/> 高等学校 【高等学校1】学年～【高等学校3】学年 <input type="checkbox"/> 大学・大学院 <input type="checkbox"/> その他 【 】		
目的・テーマ	児童に化学(理科の勉強)が社会生活に密着していることを実感させる。		
内容 (200字以内)	顔料合成実験(鉄釘、塩酸、過酸化水素水、フェロシアン化カリウムを利用し、青色の顔料を合成する)と平版印刷実験(水と油の反応を利用した印刷実験)の2つの実験を通し、以下の結論を導きだす。 <結論> 1. 人がつくるものは人が色をつけている 2. 「色のもと」があり、いろいろな方法で色がつけられている 3. そこには理科(化学)の力がたくさん使われている		
プログラム URL	http://www.dic-global.com/ja/release/2016/20160115_02.html		
会社・団体 URL	http://www.dic-global.com/ja/		
特色 (60字以内)	顔料合成実験、平版印刷実験ともに児童がすべて行うことができます。実験の際には、5～6人の班ごとにティーチングアシスタントがつき、実験を誘導します。		
対応する教科	理 科	学習指導要領 該当部分	水溶液の性質
対象人数	35 人程度	所要時間(コマ)	45 分 (1コマ)
費用	0 円/人	0	円/クラス
必要機材	<input type="checkbox"/> 企業側で準備するもの 【ビーカー、試験管、薬品、印刷用版、用紙、インキ等】 <input type="checkbox"/> 学校側で準備・提供するもの 【プロジェクター、スクリーン】		
対象地域	<input checked="" type="radio"/> 全国で開催 <input checked="" type="radio"/> 特定の地域で開催 【板橋区、北区】		

会社名：D I C株式会社

プログラム名：くらしをカラフルにする化学の力

プログラムの模様：

顔料合成実験



印刷実験後に印刷物をルーペで観察

